

12月補正 経済対策に12億8840万円計上

【経済対策関連の補正内訳】



事業名	予算額(円)
障がい福祉施設整備事業	287,400,000
幼稚園大規模改造事業	79,000,000
学校施設エコスクール化推進事業	155,000,000
農業基盤等整備事業	266,800,000
交通安全施設整備事業	134,000,000
道路環境改善事業	96,000,000
橋りょう長寿命化事業	142,000,000
消防水利整備事業	128,200,000
合計	1,288,400,000

12月議会の主な補正予算としては、経済対策関連として交通安全施設整備事業などに12億8840万円が計上されたことから、私(風間)は地元業者へ発注し、地域経済の活性化につなげるよう求めました。一方、2013年度から2022年度までの長期にわたって、新潟駅連続立体交差事業の債務負担行為として474億7400万円が盛り込まれました。

この事業について日本共産党議員団は、「開かずの踏切対策」など部分改良で対応すべきとしていたことに加え、この事業で新たに生み出される8900平方メートルもの広大な土地をJRから莫大な額で買収することなどが明らかになるなど、指理不尽極まりないものとして指摘してきました。

通学路の安全対策

12月補正で葛塚東小学区2ヶ所、濁川小学区2ヶ所、早通南小学区1ヶ所、南浜小学区1ヶ所、計6ヶ所の通学路の安全対策が盛り込まれました。

文科省などが行った通学路の点検調査などにもとづくものですが、危険な通学路解消にはまだ程遠い現状です。

安全な通学路整備にむけ積極的な取り組みが求められます。

債務負担行為は実質的にヤミ起債といわれ、国の場合は5年間の期限付きとされており、10年間の長期のヤミ起債を行うことは問題があります。

一般議案の中には、新潟市が運営している特別養護老人ホーム「大舞台ホーム」、養護老人ホーム「松鶴荘」、老人デイサービスセンター「大舞台」を民営化する方向の議案が含まれており、新潟市直営の介護施設をなくしていくことが明らかとなりました。

福祉分野での民間事業者の存在が欠かせないことは言うまでもありませんが、「住民の福祉の増進をはかる」という使命を持つ地方自治体は、その役割を發揮することは当然であり、新潟市が直営で介護施設を運営してこそ介護施設の困難や問題点、改善点が直接把握でき、より市民の立場に立った介護行政ができるのではないのでしょうか。

建設進む岡方コミュニティセンター

岡方コミュニティセンターは、平成25年3月竣工、4月1日開館のスケジュールで建て替え工事が進められています。

利用者の利便性を考え大広間をホールに変え、会議室が新たに加えられます。また、農園作業室も完備し、隣接するビニールハウスで花作りをしている地域の皆さんの活動拠点になります。



議会推薦の農業委員決まる

今年1月で農業委員の任期が満了となります。12月議会で議会推薦された北区農業委員3名は次の方です。

- 金子益夫議員(葛塚)
- 皆川英二議員(濁川)
- 近藤久子さん(濁川)

2・3月議会の予定

2月20日(水)
～3月25日(月)



道路に車があると除雪ができないので、駐車しないようにしましょう!!

「自治会除雪助成制度」 助成率100%に

旧新潟市地域は幅員5メートル未満の市道の除雪は自治会が実施し、市が一定額を補助するという方法をとっていましたが、合併地域では全額市の負担で除雪しているところがほとんどで、北区では豊栄地区と北地区で格差があり、改善を求める声が多く出されました。

日本共産党議員団は今回もこの問題を議会や予算要望で取り上げ、「市道は市が責任をもって除雪すべき」と指摘してきました。

ようやく今冬から100%の助成率となり自治会負担がなくなります。